

ご当地版「怒れる大女子会」 企画簡単マニュアル

～あなたの地元で「怒れる大女子会」をやりませんか？

(弁護士／太田啓子)

11月22日にお茶の水で行われた「怒れる大女子会」。これは、まだまだ第一弾、キックオフに過ぎません！

ぜひ、次はあなたの地元で「●●市(町村)・怒れる大女子会」を企画してみませんか？

「やってみたいけど、どうすればいいかわからない・・・」というあなたのために、企画マニュアルをご用意しましたよ(^^)。

1. 企画者集め

やってみたい人を自分のほかに、少なくとも一人は見つける。

当日、絶対必要な役割は、司会進行と受付(規模によっては受付と会計は兼務)の二つです。二人いれば、最低限その役回りはなんとかなる！

※日頃宅配食材ネットワークの運営委員をやってます、とか、子どものスポーツ習い事関係で地元にお友達が多く活発、とか、そういう方がもし加わって下さると、参加者も集めやすく、さらにいいかもしれません！

2. 会場を予約する。

●日時:どんな人を対象にするかによりますが、お仕事をしている人でも参加しやすいのは、週末の日中では？ ご参考までに、お茶の水での「怒れる大女子会」は土曜日の14時～17時に託児付きで開催しました。でも、平日・週末問わず、できれば衆院選前に、小ぢんまりとでもいいので、なんとかぜひ一回やってみましょう～！！

●場所:無料もしくは安く借りられる公共施設の会議室もいいでしょうし、もし、貸切料金無料で場所を提供してくれるレストラン・カフェなどあったら、すごく女子会らしくて素敵！ 協力してくれそうなお店に、相談してみてもいいでしょうか？

・地域の公民館などの利用規約・申込方法などは、ネットでもすぐ探せますし、市役所に電話して聞いてもいいですね。

・会場のキャパ(収容人数)ですが、すでにネットワークなどがあって、「相当の人数が集まりそう」という確信があるなら100人規模の会場を探すのもありでしょう・・・でも、はじめから無理せずに、数十人規模を目指して「まずはやってみる」というのが現実的かもしれないですね。

3. 内容を決める

【簡単バージョン】

① マガジン9のサイトにアップされている、11/22の「怒れる大女子会」の動画を会場で視聴。

パソコン、プロジェクター、スクリーン、スピーカーがあればできます。

広くて白い壁があれば、スクリーンはなくても映写できます。(ただし音響設備は必要)

※会場にそうした機材があるか、費用はかかるのかを事前に確認しておきましょう。

② 参加者同士、8人くらいのグループに分かれて、ひと言自己紹介・視聴した感想・自分が怒ってること、不安なことは何かを説明・・・ などなど。

※なお・・・ここで、お茶&お菓子があると女子会度アップ(^^)!

③ その後、参加者全員で、「この怒りをどうしたら具体的な動きにできるか」について意見・疑問をシェア。何か、その後の具体的な動きに結び付くとすごくいいですね!

たとえば地元選挙区の候補者に意見を聞きに行く、とか。街頭演説してる候補者の周りのスタッフさんに聞くだけでも色々なことがわかると思いますよ。

【少し凝ったバージョン】

① 怒れるテーマ(イコール「選挙の争点」でありますね)をいくつか決めておいて、それぞれのテーマについて短く解説してくれる専門家・当事者を呼んで話してもらおう。「このテーマでこの人の話を聞いてみたい」というのがあったら、ダメモトで突然電話したりメールしたりお手紙を書いてみたりしたらいかがでしょうか?

また、専門家を呼ばなくても、参加者のなかから有志が「私はこのテーマの担当」と決めて、自分が調べたことを発表するような形もありますよね

②③はアと同じ。

4. 参加費用設定

会場費用、資料コピー実費などが多少発生するでしょうから、実費として一人500円～1000円程度は設定してもいいのではないのでしょうか。会場費や専門家を呼んで交通費・謝礼が発生する場合には、参加者の人数を予想して無理ない範囲で予算と参加費を考えてみましょう。公共施設の場合、費用についての規約が設けている場合も

あるので、最初に確認してみてくださいね。

足りない場合は企画者の自腹になりますが、逆に「もし余ったら困っちゃう」というのであれば、たとえば「頂いた参加費から会場費などの実費をひいて、余った場合には★への寄付に使います」などと使い道を決めて、参加者に明記しておくのもあります。

5. 広報・宣伝

ここが一番、力が入るところですね！

チラシを作り、コピーして配布、Facebook、Twitter で拡散、口コミ、地元新聞紙に掲載してもらい、等々の方法が考えられます。

マガジン9のサイトにも載せて応援しますよ！

企画から当日まで時間があまりない場合には、紙のチラシを作ってもあまり配る時間さえないということもありますね。そんなときは、SNS と口コミを最大活用しましょう。

口コミでは、「地元で顔が広い人」「友達が多く人望が厚そうな人」という地元キーパーソン(笑)をメンバーに誘えると、そこから一気に広がることも！ ポイントは、「何かのネットワーク」に関わっている方、です。食材宅配ネットワーク、ヨガ教室、絵本読み聞かせ教室、スポーツ少年団、市議さん・・・などなど、あなたの周りにもいらっしゃいませんか？

それから、やっぱり新聞のイベント欄などに掲載されると宣伝力は高いですから、簡単なプレスリリース「企画した思い」と「当日の内容」に加えて「①日時 ②場所 ③参加費 ④託児の有無 ⑤申し込み方法・連絡先」を新聞社に送って、ぜひ取材＆報道して下さいと伝えてみるといいですよ。

■最後に・・・

怒れる女子のポテンシャルはすごい！

初対面の人同士でも、「私、これにすごく怒ってるんだよね」「私もー！」と真面目な話題できゃぴきゃぴ盛り上がるのは女子ならではです！

ぜひぜひ、(できることならなんとか衆院選前に)あなたの地元でも怒れる大女子会を。そして、その怒りをぜひ政治に向けての具体的な動きにしてみてください！